

うひはたぶみ (初機踏)

H.A.M.A.木綿庵日より

第54号

2021(令和3)年6月26日

(編集発行 梅田正之 090-5042-7775)

まるで博物館の世界 — 手織りの反物を嫁入り道具に —

奈良県奈良市月ヶ瀬(つきがせ)は、大和茶の一大産地です。その月ヶ瀬で茶摘みのお手伝い(パート)をさせていただいて一ヶ月が経ちました。あるとき、お世話になっているお茶農家さんのおばあ様が愛用されているモンペが、手織りのモンペであることを知りました。物干し竿にかかっていたモンペをあらためて観察させていただくと、手紡ぎ糸を用いた経緯緋(たてよこがすり)のモンペでした。

「たかがモンペ」に目を輝かせて見入る私を、その家のご夫妻はよほど珍しい人間に思われたようで、「織物に興味があるなら、こんなものもあるよ」と、茶小屋(ちゃごや)に案内して下さいました。かつての製茶作業場です。「機織り(はたおり)がある」とのことで2階に上がらせていただくと、そこにはたしかに箴框(おさがまち)がありました。明治時代中期以降に急速に普及した飛び杼式(とびひしき)機織りの一部であることは間違いありません。ただ、2階のどこにも本体はありません。あきらめて階段を下りると、その時に初めて吹き抜け部分の天井に吊り上げられている機織りに気づきました。「あれが本体ですよ!」と私が感激して申し上げると、奥様はまったくご存じなかった由。茶小屋の入り口を入ってすぐの頭上にしっかりと保管されていました。

ところで、毎日モンペをはいていらっしゃるそのおばあ様は、昭和11年生まれ。隣村の山添(やまぞえ)のご出身。「母が手織りの反物を嫁入り道具として持たせてくれた。糸を紡いでいたのは祖母」だそうです。「そのうち、着物なんて着る機会がなくなってきたからね。反物のままで置いておくのももったいないし、モンペなどに仕立ててはいてきたけど、茶摘みの作業などではすぐに擦り切れるからね。擦り切れて破れたりしたら捨てて、また新しく仕立てて…。でも、もう指が思うように動かず縫い物もできなくなってね」。「まだ反物の状態で残っているものがあれば見せていただけないか」とお願いすると、快く2反を見せてくださいました。芯棒に巻いた状態ではなく、折り重ねた反物でした。いずれも縦縞で、緋糸を用いています。経糸(たていと)は紡績糸の双糸、緯糸(よこいと)は手紡ぎ糸の単糸で本藍染めではないかと思われます。一つは幅約36.5cm、長さ約2043cm、重さ1,330g、縦縞数25筋。白と赤の空糸(もくいと)24筋。もう一つは幅約34.5cm、長さ約2145cm、重さ1,254g、縦縞数23筋。まるで博物館の世界がそこにありました。写真は左から機織り本体、箴框、おばあ様のモンペ、手織りの反物、縦縞経緋の縞柄。



Monthly Data

【天理やまのべ木綿庵】(問い合わせ件数 令和3年5月24日～令和3年6月23日)

京都府 2

【H.A.M.A. 木綿庵】(令和3年5月24日～令和3年6月23日)

メールを含む各種相談件数 2、綿畑や作業場の見学を兼ねた事前申込済来庵者数 1名



《綿の栽培記録 2021》－ 令和3年度版 その5－

天理市乙木町における梅田の感覚的観測データです。○=晴れ。△=曇り。×=雨。○/×=晴のち雨。○|×=晴時々雨。
△:×=曇り一時雨。

5月26○|△、27×/△、28△|○、29○、30○、31○。6月1○、2○、3○/△、4×、5×/△、6×/○、7○|△、8○|△、9○、10○|△、11△|○、12△|○、13△、14×/△、15△:×、16×|△、17△:×、18△、19×、20○、21○、22△、23○/×○、24○|△。25△。

梅雨入りが例年より3週間近くも早くて長梅雨の影響が心配されましたが、今のところ雨が降り続くことはなく、綿の畝が水に漬かる、という状況にはありません。おかげさまで綿は順調に生長しています。綿の丈は洋綿で約30cm、和綿で約40cmほどです。

写真は左から6月8日和綿、6月8日洋綿、6月21日和綿、6月21日洋綿、6月21日和綿(青木種)の畝の様子。



下段は左から和綿に付きはじめたつぼみ、害虫のハマキムシ被害の様子。綿と同じアオイ科のオクラの花、ムクゲの花。



下段は左より1号畑の和綿(赤木種)の畝、洋綿の畝(ともに6月21日)、1号畑の全景、7号畑の全景(ともに6月22日)。



【綿の加工の作業記録】 (梅田 1 人の作業量)

- 糸車を用いての糸紡ぎ量 (和綿:平成30年,2018年産。丹羽正行氏による打ち綿)
5月24日～6月23日(作業実日数2日) 糸の総量5.5g(1.5匁) 総時間15分(0時間15分)
※1分間≒0.367g 1時間≒22.0g(5.9匁)

【研修等の記録】

- 令和3年06月12日 大和茶の茶畑(奈良市月ヶ瀬)での茶摘みの手伝い(パート)、週5日勤務となる。
- ※緊急事態宣言の発出を受けて休館、休止していた相楽木綿伝承館および機織り教室は、6月1日より再開されました。